

スポーツでの功績と栄光を称える  
**スポーツ功労・奨励表彰**



全国規模以上の大会で優秀な成績を収めた選手や団体などを表彰する令和4年度菰野町スポーツ功労・奨励表彰式を3月29日、役場本庁で開催しました。 **敬称略**

**功労表彰**

**山田風航** WATER POLO  
AASF アジア水球選手権日本代表 優勝

**奨励表彰**

**伊藤 陸** TRIPLE JUMP  
第106回日本陸上競技選手権大会 NCH 男子三段跳 優勝  
第106回日本陸上競技選手権大会・室内競技 NCH 男子三段跳 優勝

**小川友幸** BIKE TRIAL  
MFJ 全日本トライアル選手権 国際A級スーパークラス  
2022 シリーズチャンピオン(シリーズ10年連続)

**松岡樹利** HANDBALL  
第35回全国小学生ハンドボール大会 女子 3位

**伊藤雅彦** SOUND TABLE TENNIS  
第18回全国視覚障害者卓球大会  
サウンドテーブルテニスA 男子の部 2位

**川村海月** SHORINJI KEMPO  
2022 年少林寺拳法全国大会 in OSAKA  
女子護身技法の部 最優秀賞  
第56回少林寺拳法全日本学生大会  
女子単独演武有段の部 優勝

**河野博美** NIPPON KEMPO  
第53回全日本拳法社会人個人選手権大会  
女子の部(無差別) 2位

**坂崎太星** NIPPON KEMPO  
2022 日本拳法総合選手権  
第40回日本拳法少年個人選手権大会  
小学5年生男子の部 優勝

**小林紅葉** NIPPON KEMPO  
2022 日本拳法総合選手権  
第40回日本拳法少年個人選手権大会  
中学1年生女子の部 3位

**山内康平・熊野挺来・新保陽大・阿知波瑛太** WATER POLO  
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ  
夏季水泳競技大会水球競技B区分(15歳以下男子) 2位

**山** 厳しい練習から勝ち取った結果

田選手は高校卒業後、日本有数の水球選手が集う日本体育大学へ進学し、朝から晩まで水球に打ち込み、練習の日々が続いていると語ります。水中で激しくボールを奪い合い、全身を使ってゴールを狙う水球競技は、山田選手の強靱な肉体をもってしても練習だけで疲れ果ててしまうそうです。

そんな厳しい練習を経て日本代表として結果を勝ち取ったのが、2022年11月にタイのバンコクで開催されたAASFアジア水球選手権でした。相手の外国人選手は力

**大** 水球の普及のために尽力する

も強く、身長も高かったため、均衡した厳しい試合展開が多かったと振り返ります。山田選手は結果として準々決勝から決勝までの3試合を含めて全試合で2桁得点をあげ、日本代表チームもグループリーグ4戦全勝という結果を収め、見事優勝に輝きました。山田選手が日本のみならず世界の舞台で水球選手としての実力を示した大会となりました。

学卒業後、山田選手は競技の第一線から退き、地元に戻って後進の指導にあたる予定だとい

ます。社会人チームも少なく、まだまだメジャーだとは言えない水球競技の土壌を整えるため、後進の指導にあたることでレベルアップを図り、競技を普及させていきたいという思いが根底にあります。「皆さんに水球という競技を一度だけでも観てもらいたい。全員守備、全員攻撃

と水の中で目まぐるしく攻守が切り替わる様子を駆け引きやボールの動きとともに追うことができると楽しめると思います」と競技の見どころと魅力を力強く語りました。そこにはアジア選手権優勝という結果を掴んでも、まだなお水球競技にひたむきに向き合う姿勢がありました。



選手が全身を使っての水上のボール運びも水球の見どころのひとつです。

**水中の格闘技「水球」**

プール内のゴールにボールを入れ、点数を競う水球。その激しさから「水中の格闘技」ともいわれる「水球」で昨年度、日本代表としてアジア選手権を制した山田風航選手の活躍をご紹介します。

**PROFILE ▶ 山田風航** ……  
菰野第二区出身。現在、日本体育大学4年生。21歳。身長174cm、体重75kg。  
四日市中央工業高校に進学し、水球部でインターハイに出場するなどこれまで国内の水球競技の第一線で活躍し続け、高校卒業後は日本体育大学に進学。2022年11月にタイのバンコクにて開催されたAASFアジア水球選手権に日本代表として出場し、見事優勝。国際大会でのポジションは守備の要であるセンターバック。

進学後は同校の水球部に入部し、全国高校総体(インターハイ)にも出場するなど、その活躍の場を全国区へと広げていきました。高校3年生の時には、第10回アジアエージグループ選手権(17歳以下)で国際大会の日本代表メンバーに選出されるなど、日本を代表する水球選手として競技の第一線で活躍するようになっていきます。



▲四中工時代にインターハイへの出場報告のため役場本庁を訪れた山田選手(写真右)

**CHAMPION**  
菰野のトップアスリート

AASF アジア水球選手権  
日本代表 優勝

水深2m以上のプールで行われる水球競技。水中とは思えない動きで激しくボールを奪い合います。

**幼** 水球選手として第一線で活躍

い頃から水泳教室に通っていたことをきっかけに小学4年生から水球をはじめた山田選手。最初は、母親からの勧めで全く水球競技のことは知らなかったと話す山田選手ですが、幼いころから球技が好きだったこともあり、水球という競技にのめり込んでいったといいます。小学校時代から三重県代表選手として頭角を現し、菰野中学校卒業